

## 歯の相談室



あじま診療所歯科 歯科医師  
右近 快平

お口の健康は6年間で改善されています

歯科疾患実態調査とは歯科保健状況を把握し、8020運動（歯科保健推進事業等）の種々の対策の効果についての検討や、健康日本21において設定した目標の達成度等の判定を行い、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的としたものです。

昭和32年より6年ごとに実施しており、最近では平成23年11月に実施したようです。

この調査の結果から、8020達成者（80歳で20本以上の歯を有する者の割合）は38.3%であり、平成17年の調査結果24.1%から増加しているとのこと、我が国の平均的な口腔環境はこの6年で改善していることは確かだそうです。しかしあくまで平均的な話でありますが…。

